

# 第1学年 国語科 学習指導案

日 時 2026 年 1 月 15 日 (木)  
第 5 校時 13:30～14:20  
対 象 第 1 学 年 B 組 31 名  
会 場 1 年 B 組 教 室

## 1 単元名

自分を見つめる～作品や生活と向き合い、ものの見方を深める～

『ぼくがここに』(詩) まど・みちお作 『国語1』光村図書


## 2 単元の目標


- ・ 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。
- ・ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。
- ・ 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

## 3 単元の評価規準

| ア 知識・技能                           | イ 思考・判断・表現                                      | ウ 主体的に学習に取り組む態度                               |
|-----------------------------------|---|---|
| ① 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 | ①「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 | ①積極的に詩を読み味わって考えを深め、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。 |

## 4 単元指導計画(全2時間扱い)

| 時 | 目標   | 学習内容 ・ 学習活動   | 評 価   |
|---|--|---|---|
| 1 | <div>・ 詩を読み味わい、作品の表現の意味や表現技法について考え、話し合う。</div> <div>・ 作者の思いを想像し、自分の言葉で表現する。</div> <div></div> | <div>・ 目標を確認し、学習の見通しをもつ。</div> <div>・ 詩を朗読し、印象に残った言葉や表現についての初読の感想を書く。</div> <div>・ 印象に残った表現をグループで発表し合う。</div> <div>・ 表現技法の効果について話し合う。</div> <div>・ 作者の思いを想像し、ワークシートに記録する。</div> | <div>アー①</div> <div>【ワークシート】</div> <div>イー①</div> <div>【ワークシート、観察】</div> <div>ウー①【観察】</div> |

|           |  |   |   |
|-----------|--|---|---|
| 2<br>(本時) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の思いについて想像したことを語り合う。</li> <li>・その他の詩で学んだことを振り返りながら、詩を学ぶことの意味について語り合う。</li> <li>・協働的な学びが個人の学習に与える効果や役割を考える。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習を振り返り、本時の目標を確認する。</li> <li>・各自が作者の思いを想像して記録したものをグループで発表し合い、代表が全体で発表する。</li> <li>・1、2学期の授業で学んだ詩やこれまでにふれたことのある詩を提示し、それらの詩との共通点を話し合う。代表が全体で発表する。</li> <li>・グループでの話し合いを通して詩に対する認識が深めることができたことを振り返る。</li> </ul> | <p>ア－①<br/>【ワークシート】</p> <p>イー①<br/>【ワークシート、観察】</p> <p>ウ－①<br/>【ワークシート、観察】</p> |
|-----------|--|---|---|

## 5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（協働的な学び）




- ・教師の解釈を一方的に教え込むのではなく、一人一人の読みを大切に、それを共有できるようにする。そのために、詩の言葉に対して丁寧に向き合わせ、そこから膨らませたイメージや自分なりの実感を書き留めさせる。グループでの活動では、各々が書き留めたものをもとに率直に発表し合うことを大切にする。
- ・まとめ、伝達の仕方を生徒に選択する場面を設定する。
- ・グループの発表の形式は、P Cとモニタによる発表でもホワイトボード、マーカーを使った発表でもよいこととする。発表内容も形式を求めず自由に発表してよいこととし、それぞれの意見を尊重し合えるように促していく。


## 6 本時の指導（全2時間中の2時間目）

### （1）本時の目標

- ・作者の思いについて想像したことを語り合う。
- ・その他の詩で学んだことを振り返りながら、詩を学ぶことの意味について語り合う。
- ・協働的な学びが個人の学習に与える効果や役割を考える。

### （2）本時の展開

|           | ○学習活動 ◎主体的に学び続けるための視点  | □指導上の留意点 ◆評価   |
|-----------|--|--|
| 導入<br>5分  | <p>○前時の授業で、詩の表現の意味や表現技法の特徴について考えたことを振り返る。</p> <p>○前時の授業で、『ぼくがここに』に込めた作者の思いを想像して書いた内容を確認する。</p>   | <p>□前時においてシートに記入した自分の考えをよく読み直させる。</p>  |
| 展開<br>40分 | <p>○『ぼくがここに』に込めた作者の思いについて、各自が想像したことをグループ内で交流する。</p> <p>○グループで出た主な意見を全体で発表する。</p>  | <p>□ワークシートに記入した個々の意見を、グループ内で丁寧に聞き取らせる。</p> <p>□グループからの発表方法は、P Cとモニタを活用してもよいし、ホワイトボードとマーカーを使った発表でもよいこととする。自由に表現してよいと伝える。</p> <p>◆ア－①【ワークシート、観察】</p> |

|           |   |  |
|-----------|---|--|
|           | <p>○『朝のリレー』と『魚と空』（１、２学期に既習）を音読し、作者の思いについて想像したことを確認する。</p> <p>○『私と小鳥と鈴と』を紹介し、音読する。</p> <p>○三つの詩と『ぼくがここに』における詩としての共通点について考える。</p> <p>◎グループで詩の共通点を確認しながら、「詩とは何か」について話し合う。</p> <p>◎グループで出された意見を発表し合う。</p>  | <p>□「詩とは何か」についてグループ内で自由に意見を発表し合う。</p> <p>□グループの代表が全体で主な意見を発表する。</p> <p>◆イ - ①【ワークシート、観察】</p>           |
| まとめ<br>5分 | <p>○グループでの話し合いを振り返り、協働的に学ぶことが自分自身にとってどんな意味があったのかを振り返る。</p>  | <p>□話し合いで詩を読み深めたり、詩そのものの価値について考えたりする活動が、自分にとってどんな意味があったかについて考え、ワークシートに書き留める。</p> <p>◆ウ - ①【ワークシート】</p> |